

日本トレーニング指導学会代表世話人  
日本トレーニング指導者協会研究・国際委員長

長谷川 裕

トレーニング指導第2巻第1号をお届けします。

今回も原著研究論文と原著実践論文の力作が揃いました。

発育発達を考慮した運動能力向上のためのトレーニングのあり方、一流競技者に対するスプリントトレーニング課題の明確化、そして爆発的パワーを必要とする競技選手のパワー向上のためのトレーニング戦略という極めて実践的な問題に対して独自のアプローチで緻密な研究を進め重要な知見を公表いただいた著者の方々に感謝いたします。今後のこうした素晴らしい研究が増えることを期待しています。

一方で、本学会誌、トレーニング指導の原稿の種類には、研究ノートと実践ノートというカテゴリーが用意されています。

研究ノートとは、トレーニング指導に関する研究の結果をまとめたものであり、研究の目的、方法、結果、考察などが明確にされており、新規性および信頼性があるものですが、原著研究論文のような研究の位置づけ、他の関連研究との比較検討などに関する詳しい記述は要求されないものと規定されています。つまり、さまざまな本や研究論文を読んだり、他の人の研究や実践からアイデアを得たりして行われた実践や研究を進めていく中で一瞬ひらめいた新たなテーマや手法に果敢に取り組んでえられた新規性のある情報をできるだけ早く世に問いたいという人にぜひ取り組んでいただきたいカテゴリーなのです。研究者だけが世界のトレーニング指導に関する知見を推し進めているわけではありません。実践家が思いついたアイデアがきっかけになっていることも多数あります。新しい視点、新しいアイデアから組み込まれた研究の萌芽的な知見をスピーディーに公表し、皆の物にしていくことに価値を感じた指導者や研究者の投稿を期待しています。

もう一つの実践ノートとは、トレーニング指導に関する実践の結果をまとめたもので、トレーニング方法や対象者が明確に記述されており、有用性、信頼性があるものです。原著実践論文のような研究の位置づけ、他の関連研究との比較検討などに関する記述は要求されません。これも、他の関連研究や実践論文との比較検討よりも、新たに取り組まれた実践結果を公表していただくことに価値があります。失敗事例も大歓迎です。

研究ノートも実践ノートも、日々のトレーニング指導でデータさえ蓄積していただければ誰にでも書けるものといっても過言ではないと思います。エビデンスなしに考え方や理論を主張しあうのではなく、客観的なデータを前にした議論をすすめていくというのがJATIの発足時からの基本的理念です。

ぜひ、日頃のトレーニング指導実践やパイロット研究で得たデータを基にさまざまな新しいアイデアや新たな方向性が示され、議論が活発化し、JATI会員によるさまざまな分野におけるトレーニング指導への貢献度がますます高まることを期待しています。